

3月連合奈良の日！！

橿原市議会新議員等が訴えを行う
Action36・36(サブロク)の日訴える

3月5日、連合奈良の日街宣行動を近鉄大和八木駅前で行いました。今回の行動は、コロナ禍の状況からビラとティッシュ配布は行わず、マイクでの街宣を行いました。具体的には、残業にもルールがあることを訴え『サブロクの日』のアピール



を行いました。あわせてコロナ禍で労働者が犠牲を強いられないように、連合労働ホットラインへの相談も呼びかけました。

当日は、森山県議会議員をはじめ、2月の橿原市議会議員選挙で当選した、うすい卓也議員、上田くによし議員、今井りか議員も参加して、県議会での取り組み報告や、当日開会された橿原市議会での予算審議をはじめとする課題について市民の皆さんに訴えを行いました。

橿原市議会での連合推薦候補5人全員当選を受け、議会内で5人が連携を強化して取り組むことも確認しました。

今年もメーデーはSNSで！！

【5月1日(土)配信】

**新型コロナウイルス対策で
集会・デモ中止！！**

当面する衆議院総選挙で、

自民党政治に終止符を！

安倍首相の退陣を受け、菅内閣が昨年9月に発足して6ヶ月が経ちました。この間菅政権は『国民のために働く内閣』等と標榜しましたがそのこととは裏腹に、従前は政治が介入しないことで行われてきた、日本学術会議会員推薦の会員候補の任命を、理由を明確にしないまま、自身の気に入らない人を拒み、菅カラー演出しましたが、批判を浴びる結果となりました。

コロナ対策においても、この間対応が鈍く、場当たり的な対応に終始し第三波を回避できませんでした。更には、Go Toキャンペーンの全国一斉停止を表明した12月14日に、大人数で会食していたことが明らかになりました。

『政治と金』の問題が取りざたされる中、自身の息子が勤務する衛星放送会社の総務省への接待が表面化し、総務省官僚の更迭などが行われました。

他方、奈良県出身の衆議院議員の不祥事も報道され、第3区選出の田野瀬代議士は、政府が自粛を強要している最中、高級クラブ等での豪遊により、文科省副大臣の辞職と自民党から離党しました。同様の不祥事が明らかとなった公明党の代議士は、議員辞職したにも関わらず、田野瀬代議士は、「次回総選挙を無所属で立候補し、当選したら自民党に復党する」と噂されています。

また、第2区選出の高市代議士は、総務大臣在任中にNTTによる高額接待が報じられました。そのことに対し、「会食はしたが接待ではない」「最終決裁は局長」等と言いつけています。奈良県選出議員として恥ずかしい限りです。

奈良県民の良識を発揮し、来るべき衆議院総選挙で自民党政治に終止符を打ち、政権交代への展望を切り拓きましょう。